学校番号	213

令和８年度　理科

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	i版　生物基礎（啓林館）						
副教材等	エッセンスノート生物基礎（啓林館）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

自然に親しみ、見通しをもって観察、実験などを行い、問題解決の能力と自然を愛する心情を育てる。小・中学校理科との関連を考えながら、人と自然について「生物の特徴」、「遺伝子」、「恒常性」、「生態系」という４つの視点で探究していきます。人と自然を大切にし、健康な生活を送るにはどのように考え行動すればよいのかを常に意識して学び続けてください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
生物や生物現象について、基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身に付ける。探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
問題を見いだし、事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現する力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象の関係に関心を持ち、主体的に探究しようとする力や科学的な見方や考え方を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生物や生物現象について、基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身に付けている。 生物や生物現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	生物や生物現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象の関係に関心を持ち、主体的に探究しようとするとともに、生物の共通性と多様性を常に意識するなど、科学的な見方や考え方を身に着けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	生物の特徴	生物の特徴	a: 生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解し、知識を身に付けている。 b: 生物の多様性や共通性から生物の特徴を考察し、導き出した考えを表現している。 c: 生物の多様性と共通性に関心を持ち、主体的に探究している。	課題 考査	課題 考査	課題
	遺伝子とその働き	遺伝子とその働き	a: 遺伝子とその働きについて理解し、知識を身に付けている。 「遺伝子」に関する探究活動を行い、生物学的に探究する方法を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理している。 b: 体細胞分裂の前後で遺伝情報の同一性が保たれていることを考察し、導き出した考えを表現している。 c: 遺伝子とその働きに関心を持ち、主体的に探究している。	課題 考査	課題 考査	課題
2学期	ヒトの体の調節	神経系と内分泌系による調節 免疫	a: 体内環境の維持のためヒトはどのような調節をしているか理解し、知識を身に付けている。 「恒常性、免疫」に関する探究活動を行い、生物学的に探究する方法を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理している。 b: ヒトの体の調節の仕組みや特徴を考察し、導き出した考えを表現している。 c: 恒常性や免疫について関心をもち、主体的に探究しようとする。	課題 考査	課題 考査	課題

3学期	生物の多様性と生態系	植生と遷移 生態系とその保全	a: 生物の多様性と生態系について理解し、知識を身に付けている。 「生物の多様性と生態系」について観察、実験、資料収集などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理している。 b: 「生物の多様性と生態系」に関する探究活動を行い、事象や結果を考察し、導き出した考えを表現している。 c: 生物の多様性と生態系ついて関心を持ち、主体的に探究しようとする。	課題 考査	課題 考査	課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度